

13. 熱・燃焼、三態変化 E

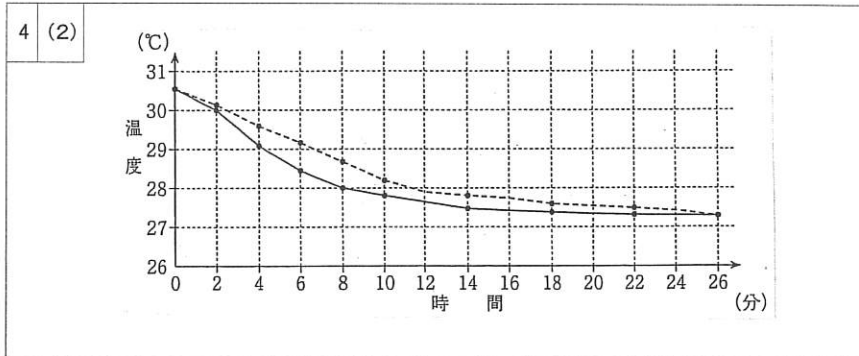
複製禁止

1	1	記号	イ	理由	空気が絶えず流れ込んでくるから。			
	2	たいへん明るく、炎をあげてよく燃える。						
	3	しだいに暗くなり消える。						
	4	ガラス管の先に火がつき、炎をあげて燃える。						
	5	ロ・ハ・ホ	6	(あ)	4	(い)	3	各2点

2	1	A	水蒸気	B	二酸化炭素	2	25.1	cm ³	各2点
---	---	---	-----	---	-------	---	------	-----------------	-----

3	1	(1)	78.97	%	(2)	酸素	4.5	%	二酸化炭素	3.97	%	(3)	水蒸気
	2	(イ)	石灰石(炭酸カルシウム)	(ロ)	塩酸	(ハ)	炭酸	(ニ)	酸	(ホ)	石灰		

3	鍾乳洞		
4	(1)	0.8	g



(3) 冷却しても、温度が下がるのに時間がかかるため。(なかなか冷えないため)

各2点

4	①	×	②	○	③	×	④	×	⑤	×	⑥	○	⑦	○
	⑧	○	⑨	○	⑩	○	⑪	×	⑫	○	⑬	×	⑭	×
	⑮	○	⑯	×	⑰	○	⑱	×	⑲	○	⑳	×	各1点	

5	1	(ア)	酸	(イ)	石灰岩(石灰石)	(ウ)	塩酸	(エ)	化石
		(オ)	温室	(カ)	冷却				

2	A	固体	B	液体	C	気体	各1点	3	(イ)	0.046	%	(ロ)	0.176	%
---	---	----	---	----	---	----	-----	---	-----	-------	---	-----	-------	---

4 雨水を加熱して、出てきた気体を追い出す。

5 ①・④・⑤ 各2点

6	1	い	2	う	3	53.2	g	4	チッ素	5	4	L	6	5.0	L	各2点
	7	2.5	L	3点												